

客員教授特別講義報告

株式会社ユニカフェ
代表取締役社長 大武 浩幸
ユニカフェ 新たな旅立ちへ
～企業の寿命30年説を打開する「革進と挑戦」～
7月19日(土)、大武浩幸客員教授による特別講義が行われました。講義の内容は、創業から上場までの道のり、経営者の心得とユニカフェの新たな展開、日本におけるコーヒーのマーケット情報など多岐に渡りました。コーヒーについての話題になると、より一層活き活きする大武客員教授の表情が印象的な特別講義となりました。



株式会社プラネット
代表取締役社長 玉生 弘昌
ビジネスチャンスを捉えるための
キャリアアップの方法
～ライオンから起業、会社上場、実業としても成功の軌跡～
8月9日(土)、玉生弘昌客員教授による特別講義が行われました。「事象の洞察」など起業家として成功するための秘訣を語る玉生客員教授の講義に、多くの聴講者が聞き入りました。また、消費者には見えない流通業界の仕組みや現状について知ることができる、貴重な講義でもありました。



株式会社ハードオフコーポレーション
代表取締役会長兼社長 山本 善政
ベンチャー・起業魂
9月6日(土)、山本善政客員教授による特別講義が行われました。リアルタイムの情報に触れ、自分に何が出来るのかを考え、自己に投資せよと話す山本客員教授から受講者が感じたものは、まさに「日本経済界の第一線」。今の自分に何が足りないのかを痛感した受講者も多かったはず。大変迫力のある講義でした。



今後の開催予定

10月 4日(土)	10:30～12:00 大平 喜信 株式会社雪国まいたけ 代表取締役社長	11月23日(日)	時間未定 新浪 剛史 株式会社ローソン 代表取締役 CEO
10月18日(土)	13:30～15:00 田端 一宏 株式会社プライム 代表取締役社長	12月 6日(土)	時間未定 本郷 孔洋 社・本郷税理士法人 理事長
10月25日(土)	13:30～15:00 矢内 廣 びあ株式会社 代表取締役社長 執行役員会長兼社長	時間未定 吉岡 伸一郎 アルファグループ 代表取締役会長	
11月 8日(土)	10:30～12:00 上村 孝樹 ジャーナリスト/コンサルタント	平成21年 1月24日(土)	13:30～15:00 南場 智子 株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役社長

※特別講義の日時はやむをえず変更となる場合がありますので予めご了承ください。
また、今後も講義が決定次第、随時ホームページにて更新しますのでご確認ください。

大学院説明会情報

大学院説明会日程
(新潟・東京)

※説明会の時間は開催日より異なります。(ホームページにてご確認ください)

10/25(土)・11/22(土)・12/13(土)・1/10(土)・2/14(土)・3/7(土)

プログラム…大学院設立の趣旨説明、教育課程の特徴説明、入試概要の説明、個別相談など
《都合により大学院説明会へ参加できない方へ》個別に日程を調整いたします。ご希望の方は、お気軽に本大学院までお問い合わせください。

入学試験情報

	試験日	出願期間
平成21年春学期 (4月入学) 入学試験日程	第1次募集 平成20年11月15日(土)	平成20年10月27日(月)～11月 6日(木)
	第2次募集 平成20年12月20日(土)	平成20年12月 1日(月)～12月11日(木)
	第3次募集 平成21年 1月17日(土)	平成20年12月22日(月)～平成21年1月9日(金)

募集概要 詳しくは募集要項をご覧ください。募集要項をご希望の方は、本大学院までお申し込みください。

お問い合わせ・資料請求・大学院説明会や特別講義への申し込み等は
こちらまでお願いします。

URL ホームページから <http://www.jigyo.ac.jp/>
e-mail から info@jigyo.ac.jp
FAX から 025-255-1251
本学に関するお問い合わせ 0120-250-171

※お申し込みの際は、住所・氏名・電話番号・メールアドレス等をお知らせください。大学院説明会・特別講義への申し込みは、参加希望日(講師名)を明記してください。

JIGYO 事業創造大学院大学

〈新潟キャンパス〉〒950-0916 新潟市中央区米山3丁目1番46号 TEL:025-255-1250 FAX:025-255-1251
〈東京キャンパス〉〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階 TEL:03-5224-8288 FAX:03-5224-3722
〈長岡キャンパス〉〒940-0047 長岡市弓町1-8-37 長岡情報ビジネス専門学校内 TEL:025-255-1250(新潟) FAX:025-255-1251(新潟)

J Press 事業創造大学院大学通信 通巻 第13号
Published by Graduate Institute for Entrepreneurial Studies

2008年10月1日発行
編集・発行
事業創造大学院大学
広報委員会・事務局



【バックナンバー】
広報誌「J-Press」のバックナンバーは、
本学ホームページからダウンロードできます。

contents

表紙 人材マネジメント p.2 公開講座、IT 経営講座
p.3 公開講座、修了生の声 p.4 大学院トピックス、インフォメーション等



公開講座「にいがた企業 経営活力再生の課題とソリューション」

ミドル人材の活性化と人材マネジメント 担当



講師 丸山 一芳
Maruyama Kazuyoshi

Profile

新潟大学～北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士前期課程修了
大学卒業後、松下電器産業にて人事部門に勤務し任用や国際人事、人員削減を担当。退職後、大学院での研究を開始。あわせて株式会社リクルート・ワークス研究所客員研究員を務めるなど民間企業との共同研究を積極的に行なっている。
組織学会、経営行動科学学会、Academy of Management 会員。修士(知識科学)

自己紹介

読者のみなさんこんにちは。秋学期開講「人材マネジメント」の講義を担当している丸山一芳です。小生は松下電器産業(株)で人事部門に勤務し、リストラや組織・子会社の合併、「フラット&ウェブ型組織」の構築などに奔走しておりました。退職後に大学院での研究活動を開始し、エーザイの経営理念浸透施策、キヤノンのデジタルカメラ開発、アルビレックス新潟のミドルなどの研究テーマや人材系ベンチャービジネスの支援などをおこなってきました。ほかにリクルートで客員研究員も務めております。

紙上講義

ここからは、先日おこなわれた公開セミナーにおける小生の講義「ミドル人材の活性化と人材マネジメント」の要点をお話しします。

「企業内起業」や「組織変革」を担う人材は誰でしょうか？
創業者のトップダウン型組織や3Mのような社員全員のアイデアをボトムアップで盛り上げていくやり方がありますが、日本企業がこれまで得意としてきたのはミドルマネジャーを中心としたミドルアップダウンだと言われています。これこそが日本企業の強みの源泉と言われてきましたが、昨今のミドルはどうでしょうか？フラット型組織への改変、成果主義の導入、プレイングマネジャー化といった構造的・制度的・職務的変化がミドルには求められました。しかし、中途半端な権限委譲、短期的成果の追及、部下のマネジメントよりも自らの業務が優先…という厳しい結果が多く組織において見受けられます。このようにミドルを取り巻く状況は過去のミドルが経験したことのない職場環境です。しかし、「最近のミドルは元気がない」「次世代経営幹部候補が育っていない」といわれるのが関の山です。

処方箋はシンプルに二つだと考えます。
一つは、りそな銀行が支店長ポストを廃止し、リテール・法人・支店内管理に役割を分割してそれぞれ部長を配したように、現在のミドルの職務に関する変化の本質の見極めとそれに見合ったポストの再構築をすることです。つまり、

ミドルの役割再設計をおこなうということです。
もうひとつはモチベーション低下への対処です。リクルートワークス研究所における1030人のミドルマネジャーへのサーベイにおいて、ミドルが自らの成長を実感することに相関があったものから3つだけ挙げてみると、
①シニアやジュニアと比較しての仕事負担感に関する不満は、成長実感にマイナス。
②ジュニアのうちに多くの成功・失敗体験を積まないで成長実感にマイナス。
③育成責任がある部下の人数が多いほど、また部下のメンタルヘルス対処を期待されているほど、成長実感にプラス。
こういった調査結果に配慮した人事制度構築や組織設計、職務の見直しが必要であるとおもわれます。
みなさんの会社ではいかがでしょうか？

講義のなかではさらに突っ込んだ議論を「データ」と「理論」と「現場の声」を駆使しながら展開していきたいとおもいます。みなさんよろしくお願いたします。



公開講座報告は中面をご覧ください



湯川学長による冒頭挨拶の様子

去る8月30日(土)、事業創造大学院大学・新潟キャンパス10階大講義室において、「にいがた企業 経営活力再生の課題とソリューション」と題した公開講座を開催いたしました。地域に根ざした大学院として微力ながら「県内企業活性化のヒントになれば」と企画された1日プログラムです。本学の教授陣が、それぞれの専門分野について講義を行いました。経営者・経営幹部、または将来の幹部候補を主な対象としたこの講座に、県内企業43社から60名の受講者が参加しました。

冒頭、湯川真人学長の挨拶によって講座がスタート。企業経営を取り巻く環境が劇的に変化していることに触れ、地域を含めた新しい産業のあり方と企業経営の質の転換が迫られていると述べました。



吉井 信隆 客員教授

■1限 (10:20~11:35) 『企業内起業成功の条件』 吉井 信隆 客員教授/㈱インターウオーズ 代表取締役社長

企業内起業活動を支援しインキュベートする事業の第1人者であり、草分け的な存在である吉井信隆客員教授による講義。国内でも必要性がますます強く認識されるようになっていく企業内起業だが、うまくいかないと感じている人も多いのが現状。自身が手掛けたインキュベーション事例をもとに、成功するためのポイントは何か、失敗を避けるために経営者、管理者が認識すべきことは何かを提示した。



山田 俊郎 講師

■2限 (11:45~12:45) 『社内事業創造と人材マネジメント』

①「事業創造とミドルの役割」 山田 俊郎 講師

教育事業や起業家支援に長年の経験をもつ、事業計画書(ビジネスプラン)を作成する演習と「中小企業金融」の講義を担当する山田俊郎講師による講義。企業が持続的に成長するためには事業創造の企業風土が必要であるという持論のもと、その風土が作り出される過程においてミドル人材の重要性と役割を提案した。

②「ミドル人材の活性化と人材マネジメント」 丸山 一芳 講師

本誌冒頭記述のような講義をおこない、ミドル人材を取り巻く問題群を概観し二つのソリューションについて論じた。



信田 和宏 教授

■3限 (13:45~14:55) 『顧客主義の市場戦略』

①「市場創造と発見」 信田 和宏 教授

「マーケティング」「ブランドコミュニケーション」の講義や演習を担当し、広告、ブランド戦略等の幅広い知識と経験を有する信田和宏教授による講義。プロダクトアウトの時代からマーケットインの時代へと変化した知価時代において、細分化が進む市場に対してどのようにターゲットをとらえて切り込むべきかについて具体的な商品などを示す一方、積極的なマーケティングを進めるにはこれまでのような市場に対する固定概念を捨てる必要があることを力説している。



富山 栄子 准教授

②「新興市場への展開」 富山 栄子 准教授

「新興市場マーケティング戦略」の講義や演習を担当し、ロシアやアジアの情勢に詳しい富山栄子准教授による講義。BRICsに代表される新興市場とは何かから始まり、新たな「市場」として注目されている新興国でのビジネスのポイントやリスク、さらには国内要因にばかり目を向けがちな日本企業の課題等について詳しく解説。事例研究として紹介された新興国に進出している新潟県企業の中には受講者の派遣元企業もあり、決して遠い世界の話ではないことを実感させた。



藤岡 宥三 教授

■4限 (15:00~16:00) 『インターネットと経営』 藤岡 宥三 教授

「ITマネジメント」の講義、IT関連ビジネスの演習等を担当し、IT企業設立、経営に関する豊富な実務経験を有する藤岡宥三教授による講義。

①インターネットによるパラダイムシフト—地方の「小」企業の時代

驚くべきスピードで変化を遂げるインターネット。今やビジネスには不可欠なツールでありながら以外と知らない人も多い基本的な仕組み、特徴などについて分かりやすく解説。その普及が地方の小企業にも大きなチャンスをもたらすことなどについて富山県の企業をケースに解説した。

②インターネットとリスクマネジメント

インターネットを有効に活用するために重要なリスクマネジメント。企業が生き残るため、保護すべき情報資産にとっての脅威とはどのようなものがあるか、またそれらの脅威に対してのセキュリティ対策について解説した。



原 敏明 副学長

■5限 (16:05~16:30) 『新潟の活力再生への途』 原 敏明 副学長

新潟県経済に精通し、「地域経済論」の講義を担当する原敏明副学長による講義。規模別都市人口増加率、分野別就業者割合など様々なデータをもとに新潟の現状や他県との比較によるポジショニング等を客観的に分析し、停滞する新潟の活力が再生するために進むべき方向を提案した。

■名刺交換会 (16:30~17:00)

講義終了後、10階ラウンジにて名刺交換会が行われました。お昼休憩時から受講者同士の積極的な交流が進み、仕事だけで接する人脈とは一味違ったコミュニティにおける異業種交流としてとても有益だったようです。



名刺交換会の様子

公開講座を終えて・・・

受講者からは「企業の問題点が自社に当てはまるものがあり、参考になった」「普段はなかなか聞く機会の少ない話が聞けた」「次回もこのような講座があればもっと勉強してからのおぞみたい」などの感想をいただきました。一方で、「〇〇の分野に特化し、深く掘り下げた講座を開催して欲しい」という声も多く聞かれました。今後さらに有意義な講座の提供を検討したいと思います。受講者の皆様、及びご協力いただきました関係企業の方々、大変ありがとうございました。

東京キャンパス エグゼクティブプログラム IT経営講座 大好評開講中!



上村 孝樹 客員教授

昨年度に引き続き、上村孝樹客員教授による「2008年度 IT経営講座」が、受講生からのご好評をいただきつつ東京で開講中です。経営戦略とIT活用を一体化させて会社を競争優位に導くことを目的としており、特に大企業とは一線を画す筋肉質な組織と優れた戦略をもつ中小企業を作りた経営幹部の方々に適した経営戦略講座です。

今年度は、14都道府県から36人の経営者・幹部が参加。講座は月1回、合計10回開催。6名の現役経営者が、受講生から寄せられた事前質問に応じつつ①経営戦略②ビジネスモデル革新③マネジメント改革④IT活用戦略、を自社の事例で解説。また、上村客員教授を含む4名の講師のもと2回の合宿と3回=合計5回のワークショップを通して、受講生が自社のIT経営を診断したり、自社の事業再構築や新規事業を企画、その成果を発表してもらい内容を評価することをゴールにしています。



上村先生

授業風景



ワークショップ① 自社の経営課題のピックアップとディスカッション



ワークショップ② 新ビジネスの企画

今年度ご登壇のゲスト講師



2008/6/21
モネット有限会社
代表取締役社長
光畑 由佳氏



2008/7/19
株式会社チェリーベイブ
代表取締役社長
千葉 麗子氏



2008/9/20
株式会社キャリアブレイン
代表取締役社長
吉岡 政晴氏

修了生成果報告 (平成20年3月修了生)



松本 伸一 さん

株式会社幻の酒
代表取締役社長

大学院教員によるアドバイスと人脈紹介で、新商品の開発に成功

在学中にある先生から、堺屋太一氏の唱える「好縁」という言葉のコンセプトが酒のもつ本質的特長とマッチするので、これに関係させた新商品を考えてどうかというアドバイスをいただき、以後先生方のご指導・ご協力のもと、演習科目での事業計画策定として自社の新しいブランドの日本酒商品開発に取り組みました。生の情報を収集して商品のポジショニング等マーケティング戦略を練り、また堺屋太一氏にコネクションのある他の先生のとりにして商品ロゴマークに堺屋氏の自筆をいただけることになり、新商品「好縁」を開発しました。現在多くの注文をいただいでおり、「学費の22倍の実績ができた」と喜んでおります。

事業創造大学院大学で学んだことで、従来プロダクト・アウト的な考え方のもと「ただ売る」ことが当たり前であったのが、よりマーケット・イン的な戦略を考えて「心の琴線に触れるような」商品を目指してマーケット・ニーズを作ることができるようになりました。また、この大学院に院生としてあつまる異業種の方々との交流とそこから得られたよい刺激は、自分にとってビジネスのネタが生まれる源泉となりました。まさに、会社経営者や起業家のための大学院だと思います!

純米大吟醸好縁酒 (かめざけ)

—作家であり元経済企画庁長官の堺屋太一氏の言葉に「好縁」という言葉があります。好縁とは、「好きなこと」で出会いが集まり、そして集い、互いを尊重し、また自分を高め、人間らしい生き方をすることを意味する言葉です。人は生まれた時の血縁、住んでいる地域との地縁、職場での職縁と様々な縁に囲まれている中、これからは年齢や性別や組織を超えて、趣味や考え方で意気投合し、個々が満足できる社会が求められています。「団塊の世代」の定年とともに職場での繋がりである「職縁」から、「好縁の時代」を迎えるにあたり、自分が本当に好きなことは何だろうか、と模索し好きなことをする同士が、その縁で繋がる「好縁社会」を楽しむために、今回堺屋太一氏の書によってこのお酒は発売されます—

